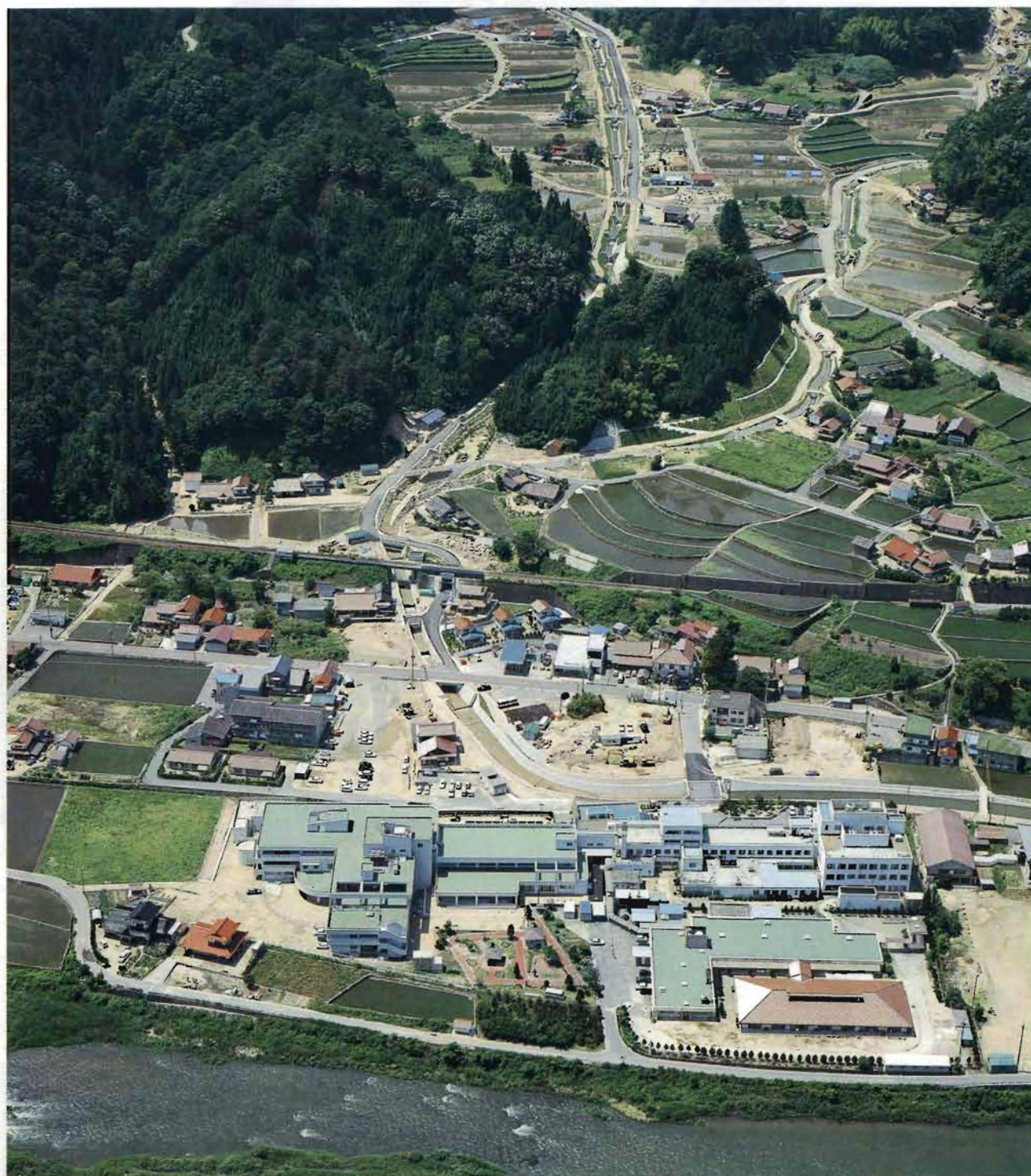


昭和63年災害・江河内谷川復旧工事



広島県加計土木事務所
TEL 08262 (2) 0541



被災の概要

● 加計土木事務所管内

昭和63年7月20日から21日にかけて、広島県北西部を襲った集中豪雨は、6時間で246mmという今までに例を見ない降雨量で、加計町、戸河内町を中心に大規模な土石流（合計83,000m³）が発生し、下表に示すように多大な被害をもたらした。

■ 人の被害

区分	人数	
死者	14	
負傷者	重傷	2
	軽傷	9
計	25	

■ 住家の被害

区分	棟
全壊	38
半壊	20
一部損壊	15
床上浸水	73
床下浸水	482
計	628

■ 各部門の被害

区分	被災額(億円)
土木関係	122
農水業関係	26
林業関係	24
教育・商工業地	3
計	175

● 江河内谷川流域の被災概要

加計町下殿河内地内江河内谷川に発生した流出土砂量は約40,000m³であり、この土石流には1個の重さが30ton（直径約3m）程度のもも含まれていた。流出土石流を1平方キロメートル当たり換算すると70,000m³程度の量に相当し、広島県の過去の調査実績の最大であった54,000m³を大きく上回る量であった。

土石流による江河内谷川流域の被害は、死者10名、負傷者7名、家屋流出19戸、一部損壊を含む住家の床上浸水13戸、被災河川延長約2.5kmと甚大なものであった。

江河内谷川被災状況写真（下流上堀地区）



復旧の概要

● 加計土木事務所管内

事業主体	復旧工事の内容	事業費(億円)
広島県 土木建築部 農政部、林務部	河川、砂防施設（砂防ダム・流路工を含む）、道路橋梁 治山施設（治山ダム、谷止工等を含む）及び耕地、農道 林道の被災した箇所への復旧工事 1,103箇所	118.6
町 村 加計町、戸河内町、簡賀村、 芸北町、豊平町、千代田町、大朝町	河川、道路、橋梁、小規模崩壊地、農地の被災箇所の復旧工事 456箇所	47.9
合 計		166.5

● 江河内谷川流域

事業主体	復旧工事の内容	事業費(億円)
広島県	土木建築部 流路工復旧工事 延長 2,240m 砂防ダム工事 2箇所 ダム高 14.5m・8.5m	15.9
	林 務 部 えん堤工事 2箇所 ダム高 10.5m・12.0m 谷止工事 8箇所 高さ 6m～8m	
	農 政 部 ほ場整備事業（農地被災復旧工事） 面積 5.9ha	0.6
加 計 町	農地小規模被災復旧工事 道路災害復旧工事 3箇所 橋梁災害復旧工事 1橋	0.4
合 計		18.9

江河内谷川復旧状況写真（下流上堀地区）



復旧工事概要図



慰霊碑



災害碑



支川(流路工)



砂防(激特ダム)



本川(流路工)



大型床固工



修景護岸工



激特(流路工)

復旧事業の説明

●土木関係事業（建設省管轄）

■砂防災害関連事業<砂防(関連)>

再度災害を防止するため、未災箇所を含む一連の施設について、一定の計画に基づいて行なう改良復旧事業。

■災害関連緊急砂防事業<砂防(緊急)>

災害を受けた場所が新たに発生した土石流等により著しい土砂災害を受ける恐れがある場合で緊急的に施行を必要とされる事業。

■砂防激甚災害特別緊急事業<砂防(激特)>

災害が発生した一連地区のうち、堆積土砂または崩壊により、次の出水時に下流に著しい被害を与える恐れのあるもので、再度災害を防止するため一定の計画に基づき緊急に実施することが必要な事業。事業費の合計がおおむね10億円以上となるもの。

■道路災害復旧事業 ■橋梁災害復旧事業

災害により被災した施設を原形に復旧する事業。

●農林関係事業（農林水産省管轄）

■災害関連緊急治山事業<治山(緊急)>

再度災害を防止するため、災害により新たに発生し、または拡大した荒廃山地または、地すべり地を緊急に復旧整備する保安施設事業。

■治山激甚災害対策特別緊急事業<治山(激特)>

林地の崩壊、土砂流出、地すべり等により、災害が発生した一連地区のうち、次の出水等により下流に著しい被害を与える恐れがあって、再度災害を防止するため一定の計画に基づき、緊急に行なう治山事業。事業費の合計がおおむね10億円以上となるもの。

■林地荒廃防止施設及び地すべり防止施設災害関連事業<治山(施設災)>

治山施設及び地すべり防止施設が被災した場合の復旧事業。

■農地被災復旧事業<農災>

災害により被災した農業施設を原形に復旧する事業。

本川激特（流路工）JR殿賀駅より下流を望む



本川関連（流路工）修景護岸を下流より望む



本川緊急（砂防ダム）下流より望む



まさかの時のために、日頃より注意しよう

■こんな時は注意しよう。



- ・100mm以上の雨が降り続くとき
(100mmとは、タライに約10cm)



- ・20mm以上の雨が1時間以上
続くとき
- ・前線による集中豪雨や台風



■こんな場所に注意しよう。



- ・谷の出口が扇状になっているところ
- ・大きな石がゴロゴロあるところ
(かつて土石流があったところと
思われます)



- ・勾配が1/30(30mで1m
高くなる)より急な場所



■警戒と避難



・広報車



・有線放送や同報無線



- ・集団で助け合って避難する
- ・川に対し直角方向に避難する